

年間授業計画 新様式
高等学校 令和7年度（3学年用）
教科：地理歴史 科目：受験日本史Ⅱ 単位数：2単位
 対象学年組：第3学年1組～6組
 教科担当者：（1～6組選択者：吉積）
 使用教科書：平雅行ほか『日本史探求』（実教出版株式会社、令和4年検定済）
 使用副教材：実教出版編集部編『日本史探求 マイノート』（実教出版株式会社、令和6年）
 科目の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の歴史的特色と日本の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【主体的に学習に取り組む態度】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

観点別の評価基準：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	学びに向かう力、人間性等
現代世界の歴史的特色と日本の歴史の展開に関して、正確に理解しているか。 調査や諸資料等を適切に調べ、効果的にまとめる技能が身に付いているか。	地理や歴史に関わる事象の意味・意義・関連性を、多面的・多角的に考察できるか。課題の解決に向けて考察、構想したことを効果的に説明することができるか。考察・構想したことを基に、適切に議論することができるか。	課題を主体的に解決しようとする態度をもって学びに取り組んでいるか。 多面的・多角的な考察や深い理解を養うために、積極的に学習に取り組んでいるか。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当時数
				知	思	態	
1 学 期	・古代から近代に至るまでの歴史区分を再確認する。 ・受験日本史Ⅰの学習内容を再確認する。 ・鎖国の概念と幕藩体制について理解する。 ・鎖国下での思想と、日本に対する諸外国の思惑を理解する。	ガイダンス 近代までの総復習 江戸時代の外交	ノート ワークノート 発言	○	○	○	4
	・開国がもたらした影響を考察する。 ・鎖国から開国へという大きな転換を条約を通して読み解く。 ・尊王攘夷思想の発生について理解する。 ・討幕運動の具体的経緯を理解する。	開国から討幕へ 討幕運動の展開	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	4
	・江戸幕府から明治政府への政権交代の経緯を理解する。 ・明治維新への諸外国の関わりとその因果関係を考察する。 ・明治新政府の近代化改革の具体的内容を理解する。 ・明治政府の政治理念を江戸時代と比較しながら考察する。	明治維新	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	中間考査		定期考査	○	○	○	1
	・明治新政府の近代化改革の具体的内容を理解する。 ・明治政府の政治理念を江戸時代と比較しながら考察する。 ・文明開化の具体的内容を理解する。 ・明治維新が民衆の生活・文化へ与えた影響を考察する。	明治維新の新制度 文明開化	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	・自由民権運動の目的と政府の対応とその結果を理解する。 ・条約構成交渉の経緯を当時の世界情勢に着目して考察する。 ・大日本帝国憲法の内容を理解する。 ・立憲体制について理解する。	立憲国家への道 議会政治の展開	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	・日清戦争の影響を、アジア世界の視点で考察する。 ・日清戦争後の内外情勢の変化や対立の原因を理解する。 ・日露戦争に至る経緯を理解する。 ・日露戦争後の世界での日本の地位の変化を考察する。	日清戦争 日露戦争	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	・日本の近代産業の発達経緯について理解する。 ・社会問題や労働問題の発生と政府の対応を理解する。 ・国家主義の浸透が近代文化に与えた影響を考察する。 ・近代文化の特色を理解する。	産業革命と社会の変容 近代文化の形成と展開	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	期末考査		定期考査	○	○	○	1
	・第一次世界大戦前後の国際情勢と日本の対応を理解する。 ・大戦が日本経済に与えた影響を考察する。 ・ロシア革命の内容とその影響を考察する。 ・ヴェルサイユ・ワシントン体制の意義を理解する。	第一次世界大戦	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	2
	・都市中間層の成長が社会にもたらしたものを考察する。 ・政党政治の動向を理解する。 ・産業構造や社会の変化を考察する。 ・恐慌の具体的内容を理解し、その影響を考察する。	政党政治の展開 市民文化の展開	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	5
	・満州国建国のねらいやその後の影響を考察する。 ・二・二六事件から日中戦争に至る過程を理解する。 ・国家総動員体制に至る経緯を理解する。 ・第二次世界大戦の推移を日米関係に注目して考察する。	満州事変 日中戦争	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	5
	・戦争の経緯と、占領下のアジア各地の動向を理解する。 ・戦時下の国民生活の変化を考察する。	アジア・太平洋戦争	ノート ワークノート 発言・発表・課題	○	○	○	4
	中間考査		定期考査	○	○	○	1
	・敗戦に至る経緯を理解する。 ・戦後のアジア各地の動向を理解する。 ・GHQの改革の方針と具体的内容を理解する。 ・戦後の政党復活や労働運動の高揚の経緯を理解する。	敗戦 占領と民主化政策	ノート ワークノート 発言	○	○	○	5
	・日本国憲法の特徴と成立の意義を考察する。 ・明治憲法との比較を通じて、日本国憲法の特色を理解する。 ・冷戦の激化が日本の占領政策に及ぼした影響を考察する。 ・朝鮮戦争の経緯を理解し、日本経済への影響を考察する。 ・国際社会復帰と安保締結がもたらした課題を理解する。 ・民主化が国民にもたらした影響を考察する。	日本国憲法の成立 占領政策の転換 独立と日米安保体制の形成	ノート ワークノート 発言	○	○	○	5
	・55年体制成立の背景を理解する。 ・安保闘争の争点と意義を理解する。 ・高度経済成長がもたらした社会の変化を理解する。 ・高度経済成長のひずみを理解する。 ・日本の政治経済状況と世界情勢の動向を考察する。 ・経済大同意識や行政改革が社会に与えた影響を考察する。	55年体制 高度経済成長下の日本 「国際化」する経済大国	ノート ワークノート 発言・課題	○	○	○	5
	期末考査		定期考査	○	○	○	1
	・冷戦の終結の背景を理解する。 ・バブル経済出現の経緯を理解する。 ・55年体制崩壊後の政局を世界の動向と関連付けて考察する。 ・今日の世界と日本の課題を理解する。 ・55年体制崩壊後の政局を世界の動向と関連付けて考察する。 ・今日の世界と日本の課題を理解する。	冷戦の終結 新たな世紀の日本へ 多文化共生	ノート ワークノート 発言	○	○	○	2
	・入試問題を題材に苦手意識を抱きやすいテーマを個別に理解する。	入試問題対応	ノート・ワークノート 発言 小テスト	○	○	○	5 合計時数 70